

## 昭和 50 年度支部総会報告

### 北海道支部

日時 昭和 50 年 7 月 5 日

会場 北海道電力俵会館

議事 省略

### ○昭和 49 年度事業報告

#### 1. 研究会等

- (1) 「動画グラフによる事業収入変動予測の一方法」杉村孝雄（電々公社 北海道電気通信局）
- (2) 「昭和 49 年度秋期大会報告」（事例紹介と討論）大会出席会員
- (3) 「プログラミング教育用ビデオ教材の紹介」東海大学札幌校舎ビデオ教材実演と検討会

2. 月例講演会 昭和 49 年 8 月 30 日 札幌市、日生ビル 伊藤 滋（東大）「都市システムの側面」出席 86 名

3. 見学会（月例講演会終了後に実施）札幌市厚別副都心、流通センター、地下鉄工事現場、月例講演会講演者を含め、関係市職員、OR 学会員 25 名出席

#### 4. OR 普及活動

- (1) 昭和 49 年度文部省委嘱大学公開講座への協力

メインテーマ：“経営システム化の問題点”

小樽商大教授 伊藤森右衛門ほか

昭和 49 年 8 月 26 日～9 月 11 日、札幌、北海道拓殖銀行

OR 学会員の担当科目 “計数管理の手法とその応用” 沼田 久（小樽商大），“需要予測のシステム” 浅利英吉（東海大）、受講者 25 名

- (2) 電々公社札幌電気通信学園「トラフィック理論講習」への協力 講習テーマ “トラフィック理論と待行列” 昭和 49 年 9 月 3 日～9 月 13 日 浅利英吉（東海大）担当時間 40 時間 受講者 27 名

### ○昭和 49 年度収支決算書

49. 3. 1～50. 2. 28

科 目	予 算	決 算	備 考
(収入の部)			
本部交付金	101,200	101,200	
参加費	10,000	9,000	支部総会参加負担金 9,000
資料等頒布収入	0	0	
利息	0	3,655	
雑収入	0	100,000	月例講演会費用として日本国有鉄道北海道支社より寄付
合 計	111,200	213,855	
(支出の部)			
会議費	60,000	55,518	支部総会 43,318 運営会議（2回）12,200
講演会費	115,000	122,225	月例講演会 1 回、見学会を含む、見学会 30,170、講師関係費用 41,010、会場料 18,450
研究会費	20,000	6,000	
通信費	15,000	6,827	
交通費	4,000	1,240	
事務費	12,000	6,800	
予備費(雑費)	5,000	2,250	
合 計	231,000	200,860	
当期運営残高		12,995	
前期繰越金		145,090	
次期繰越金		158,085	

### ○昭和 50 年度事業計画

1. 研究会等：(1)支部主催研究会 年 3～4 回実施を予定、(2)企業間 OR 懇話会 年 2 回程度実施を予定
2. 月例講演会 検討中
3. 見学会 1 回実施を予定
4. 普及活動 適宜実施
5. 研究部会 “熱エネルギー管理による北海道稲作冷害対策の研究” 道内農業、気象、エネルギー専門家チームより冷害対策の将来を研究する。なお、7 月 16～18 日、札幌市にて開かれる文部省主催電気教官会議エネルギー分科会に、当研究部会主査（浅利・東海大）が出席することになっている。

○昭和 50 年度収支予算

50.3.1 ~ 51.2.29

取 入		支 出	
科 目	予 算	科 目	予 算
前期繰越金	158,085	会 議 費	60,000
本部交付金	115,200	講 演 会 費	20,000
会議費負担金	10,000	研 究 会 費*	50,000
		通 信 費	10,000
		事 務 費	10,000
		交 通 費	5,000
		予 備 費(雑費)	5,000
		次 期 繰 越 金	123,285
合 計	283,285	合 計	283,285

\* 見学会の分を含む

○昭和 50 年度役員

- 支 部 長 三浦良一 (北大)
- 運 営 委 員 司馬正次 (北大), 渡辺昭夫 (電々),  
阿部昌信 (北海道総合経済研究所)
- 監 事 (兼運営委) 村上 融 (国鉄), 進藤  
祝男 (北海道電力)
- 幹 事 (兼運営委) 浅利英吉 (東海大), 中  
山道夫 (北海道電力)

..... 東 北 支 部 .....

- 日 時 昭和 50 年 4 月 12 日 (金) 14:00 ~
- 会 場 仙台市東北電力 4 階会議室
- 議 事 省略

○昭和 49 年度事業報告

1. 会 議
  - (1) 総 会 4月12日 (金) 午後 2 時より東北電力 4 階会議室において開催, 下記議案について審議し承認された: ①昭和 48 年度事業報告ならびに決算報告, ②昭和 49 年度事業計画案ならびに決算案
  - (2) 運営委員会 4月12日 (金) 午後 1 時 30 分より総会議案について審議した.
  - (3) 幹事会 3月20日 (水) 開催
2. 講演会 4月12日 (金) 総会終了後, 同会場において開催した.  
「数学モデルについて」(東北大)御園生善尚氏
3. 研究会 下記のとおり 2 回の「OR 研究会」を開催した.

延回数	期日	時間	場 所	講 師	テ ー マ	参加人員
第 7 回	12/16 (月)	午後 6 ~ 8 時	仙台市東北電気会館	東北石油 高井英造氏	仙台港 港灣シミュレーション	9 名

第 8 回 1/24 (金) " " 山形大学 最首知雄氏 | 交通流の配分とシミュレーション | 8 名

4. 懇親会 4月12日 (金) の総会終了後開催した.
5. 秋季研究発表会 秋季研究発表会は 10 月 16 日 (水), 17 日 (木) の両日, 仙台市宮城県民会館において開催された. また, 16 日夜懇親会, 18 日 (金) 新仙台港 (新仙台火力, 東北石油) ~ 松島海岸 ~ 奥松島の見学会がそれぞれ実施された. 支部としてはこれに協力するため 6 月 20 日御園生副支部長を委員長とする支部実行委員会を設置し, 5 回におよぶ委員会を開催し万全を期したうえ, 準備・運営に当たり, 好評を得た.  
(概要)
  - ・特別講演 3 件 (地元からは東北大学 二村 忠元教授による「騒音問題」の講演がなされた)
  - ・研究発表 72 件 (3 会場)
  - ・参加人員 研究発表会 約 300 名, 懇親会 54 名, 他に支部より 8 名, 見学会 36 名, 他に支部より 4 名.

6. 会員の状況 (50 年 2 月末現在) 会員 54 名, 賛助会員 2 社

○昭和 49 年度収支決算書

(1) 貸借対照表 50.2.28 現在

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
預 貯 金	33,166	前期繰越金	46,091
		当期運営残高	△ 12,925
合 計	33,166	合 計	33,166

(2) 収支計算書 49.3.1 ~ 50.2.28

科 目	予 算	決 算	備 考
(収入の部)			
本部交付金	110,800	110,800	
利 息	3,000	1,592	
(1) 合 計	113,800	112,392	
(支出の部)			
会 議 費	80,000	61,667	総会・運営委員会・懇親会・幹事会等 7 回
講 演 会 費	12,000	2,000	講演会 1 回
研 究 会 費	21,000	7,400	研究会 2 回
印 刷 費	15,000	0	
通 信 費	10,000	5,800	はがき, 切手代
交 通 費	5,000	17,200	支部長会議出席旅費, タクシー代
事 務 費	6,000	1,250	小切手取立手数料, 封筒代
予 備 費	10,891	30,000	秋季研究発表会応援
(2) 合 計	159,891	125,317	

(3) 当期運営残高	△ 46,091	△ 12,925	(1)-(2)
(4) 前期繰越金	46,091	46,091	
(5) 次期繰越金	0	33,166	(3)+(4)

○昭和 50 年度事業計画

1. 会 議 (1)総会 1 回開催, (2)運営委員会 2 回開催, (3)幹事会 3 回開催
2. 講演会 2 回程度開催 (企業, 団体等との共催も含む)
3. OR 研究会 4 回程度開催 (研究成果発表, 素材提供, 自由討議などによる研究)
4. OR 普及活動 各職場の実情に合った普及活動を積極的に進行す。
5. 会員増強 上記活動, その他を通じ, OR 学会への入会勧誘などを行なう。
6. 親睦行事 会員の親睦を図るための行事を 1 回程度行なう。

○昭和 50 年度収支予算

50. 3. 1 ~ 51. 2. 29

科 目	予 算	前年度予算	増 減	予 算 内 訳
(収入)				
前期繰越金	33,166	46,091	△ 12,925	
本部交付金	110,800	110,800	0	
利 息	1,500	3,000	△ 1,500	
収入合計	145,466	159,891	△ 14,425	
(支出)				
会 議 費	72,000	80,000	△ 8,000	総会, 運営委員会, 幹事会等 12,000×6 回
講演会費	12,000	12,000	0	講師謝礼 6,000×2 回
研究会費	24,000	21,000	3,000	講師謝礼, 会場費 6,000×4 回
印刷費	6,000	15,000	△ 9,000	総会議事録, 各種資料印刷代
通信費	10,000	10,000	0	はがき, 切手代等
交通費	15,000	5,000	10,000	支部長会議出席旅費, 講師タクシー代等
事務費	3,000	6,000	△ 3,000	事務用品, 消耗品代等
予備費	3,466	10,891	△ 7,425	
支出合計	145,466	159,891	△ 14,425	

○昭和 50, 51 年度役員

2 年ごとの改選時期に当たるため, 次の役員を選出する。

- 支 部 長 松田 彰 (東北電力)  
 副支部長 御園生善尚 (東北大)  
 藤田史郎 (東北電通局)  
 運営委員 本多波雄 (東北大), 和田秀三 (東北大), 竹内 清(東北大), 木村正行(東北大), 古瀬大六 (東北大), 佐藤健児

(東北大), 小川 久(山形大), 富田耕造 (河北新報), 近久達男 (東北電通局), 富士野昭典 (東北地建), 加藤幸雄(東北電力), 今村一郎(東北電力), 本間四郎(東北電力)

- 監 事 庄司恒雄 (東北電通局), 手島恒男 (東北大)  
 幹 事 後藤義雄 (河北新報), 高野安二 (東北地建), 高井英造 (東北石油), 鈴木義也 (東北大), 高橋幸雄 (東北大), 八島章一 (東北電力), 五十嵐豊 (東北電力), 本宮公男 (東北電力)

中部 支部

日 時 昭和 50 年 3 月 8 日 (土) 11:50 ~ 12:20  
 会 場 愛知県中小企業センター 7 階第 3 会議室  
 議 事 省略

○昭和 49 年度事業報告

1. 会 議 (1)総会 1974 年度定例総会は 1974 年 3 月 9 日愛知県中小企業センターにおいて開催され下記事項について審議承認された: ① 1973 年度報告および収支決算の件, ② 1974 年度事業計画および予算の件, ③支部規約変更の件, ④ 1974 ~ 5 年度役員の件。  
 (2) 運営委員会 3 月 2 日 (土) 13:30 より愛知県中小企業センターにおいて開催し, 下記事項について承認された: ①総会提出議案の件, ②事務委託費増額の件。また, 9 月 14 日 (土) 15:30 より愛知県中小企業センターにおいて開催し, 下記事項について審議承認された: ①支部顧問推せん の件, ②役員補充の件, ③国際 OR 学会日本開催の件。  
 (3) 幹事会 3 月 20 日 新旧幹事引継, 支部評議員選出, 7 月 5 日 収支状況について, 見学会, 月例講演会の件, 支部顧問の件, 9 月 27 日 国際 OR 学会募金の件, 1 月 20 日 国際 OR 学会募金の件, 支部研究発表会の件, 支部総会の件, 2 月 18 日 同上
2. 講演会 1 月 25 日, 愛知県中小企業センターにおいて本部の月例講演会を兼ねて 矢部 真氏 (新日鉄) による「企業のための OR」の講演を行なった (参加者 40 名)。
3. 研究発表会 3 月 9 日, 愛知県中小企業センターにおいて, 学生 (10 件), 一般 (5 件) の



会 場 大阪市中央電気クラブ 215 号室  
議 事 省略

○昭和 49 年度事業報告

OR 研究講演の開催

第 1 回 49 年 7 月 29 日 京都私学会館「米国における高速道路の交通管制について」D. E. Cleveland 氏 (ミシガン大), 担当主査 佐佐木綱氏 (京大)

第 2 回 7 月 30 日 大阪市中小企業指導センター「ある協同研究体制の提案—Production Smoothing 問題を例として」木村幸信氏 (神戸商大), 「経営工学の理論と実践」中野 広氏 (ワコール), 担当主査 加瀬滋男氏 (阪府大)

第 3 回 11 月 2 日 京都大学工学部「公害の規制と制御」三根 久氏(京大), 「インフレーションの構造と制御」吉田和男氏(大蔵省)「数理計画法の地域経済への応用」田畑吉雄氏(阪大), 担当主査 三根 久氏(京大)

第 4 回 11 月 26 日 京都大学工学部「“Sixth International Symposium on Transportation and Traffic Theory” 49. 8. 26 ~ 28, シドニー, オーストラリアに出席して」近藤勝直氏(京大), 「“2nd World Symposium on Traffic Control and Transportation Systems” 49. 9. 16 ~ 21, モンテカルロ, モナコに出席して」長谷川利治氏(京大), 担当主査 長谷川利治氏(京大)

第 5 回 12 月 21 日 大阪大学基礎工学部「複素空間における数理計画問題」久志本茂氏(福井大), 「限界と階層についての考察」横山保氏(阪大), 担当主査 坂口 実氏(阪大)

第 6 回 50 年 1 月 25 日 大阪大学工学部「Probabilistic analysis of a multicomponent series-parallel system under preemptive repair discipline」児玉正憲氏(阪大), 「相関をもつ 2 ユニット冗長システムの信頼性」西田俊夫, 岡田 豊氏(阪大), 担当主査 西田俊夫氏(阪大)

第 7 回 2 月 8 日 中央電気クラブ「都市問題と公共政策」安田八十五氏(神戸商大), 「西宮市における公共政策のシステム化」横山良章, 福井良次氏(西宮市), 担当主査 真鍋龍太郎氏(神戸商大)

第 8 回 2 月 22 日 中央電気クラブ「貨幣効

用の測定—確率的結合による学生グループの実査結果を含んで」岡沢 宏氏(住友化学), 「大都市におけるバス運行の解析」森 秀夫氏(大阪市), 担当主査 朝尾 正氏(田辺製薬), 後藤昌司氏(塩野義製薬)

○昭和 49 年度収支決算書

貸借対照表 50. 2. 28 現在

科 目	金 額	科 目	金 額
預 貯 金	230,739	前期繰越金	198,221
		当期運営残高	32,518
合 計	230,739	合 計	230,739

収支計算書 49. 3. 1 ~ 50. 2. 28

科 目	予 算	決 算	備 考
(収入の部)			
本部交付金	341,600	341,600	
雑収入	0	600	
利息	0	6,703	
合 計	341,600	348,903	
(支出の部)			
会議および総会費	50,000	36,510	
研究活動費	250,000	200,000	
通信費	30,000	24,345	
事務費	50,000	25,050	
交通費	80,000	30,480	
予備費	79,821	0	
合 計	539,821	316,385	
当期運営残高		32,518	
前期繰越金		198,228	
次期繰越金		230,739	

○昭和 50 年度事業計画

OR 研究講演会 8 回

担当主査 伊藤忠雄氏(東レ), 徳山博子氏(住友金属), 加瀬滋男氏(阪府大), 河崎俊二氏(神戸商大), 後藤昌司氏(シオノギ), 朝尾 正氏(田辺製薬), 坂口 実氏(阪大), 佐佐木綱氏(京大), 西田俊夫氏(阪大), 三根 久氏(京大)

○昭和 50 年度収支予算

収入の部 支出の部

科 目	金 額	科 目	金 額
本部交付金	379,200	会議および総会費	50,000
前期繰越金	230,739	研究活動費	200,000
		通信費	60,000
		事務費	40,000
		交通費	50,000
		IFORS/TIMS	200,000
		関連費	
		予備費	9,939
計	609,939	計	609,939

○昭和50年度役員

- 支 部 長 °三根 久 (京大)  
 副支部長 °西田俊夫 (阪大)  
 監 事 南 俊次 (南技術士事務所), °原田英介 (住友銀行)  
 運営委員 伊藤忠雄(東レ), 茨木俊秀(京大), 河崎俊二 (神戸商大), 後藤昌司 (シオノギ製薬), 田畑吉雄 (阪大), 野藤泰昇 (関西情報センター), 森 健一 (阪府大), 徳山博子 (住友金属), 中野友次(松下電子), 納谷嘉信(電総研), 真鍋龍太郎 (神戸商大), 大野勝久 (京大), \*朝尾 正 (田辺製薬), \*加瀬滋男 (阪府大), °伊藤信彦 (東洋紡績), °児玉正憲(阪大), °坂口 実(阪大), °長谷川利治(京大), °横山 保(阪大)  
 °印は新任, \*印は再任, 他は継続

中国・四国支部

- 日 時 昭和50年3月24日 (月) 11:00~12:00  
 会 場 中国電力㈱3号館会議室  
 議 事 省略

○昭和49年度事業報告

1. 総 会 1回 49年4月22日 (月) 16:00~17:00, 中国電力, 議題: ①48年度事業報告と収支決算承認, ②49年度事業計画と収支予算承認, ③役員承認, ④支部規約改正
2. 役員会 1回 49年4月22日 (月), 中国電力
3. 幹事会 5回 49年4月17日, 49年5月20日, 49年6月12日, 49年9月13日, 50年2月21日, 中国電力, 広島大学, みゆき会館
4. 講演会 6回
  - (1) 49年3月12日 (火), 中国電力, 「大気汚染防止の諸問題」近藤次郎 (東大)
  - (2) 6月12日 (水), 広島大学, 「米国企業における人間工学の現状について」Richard Pew (ミシガン大)
  - (3) 6月14日 (金), 中国電力, 「ORの定着と普及について」唐津 一 (松下通信)
  - (4) 7月11日 (木), 広島大学, 「事例を中心としたマネジメントシステム設計におけるシステムエンジニアとシステムマネジャーの役割」村松林太郎 (早大)

(5) 11月21日 (木), 岡山商工会議所, 「在庫管理の問題点と展望」春日井博 (早大)

(6) 50年2月7日 (金), 朝日生命ビル(高松), 「創造工学における等価変換展開理論とその応用」田淵政夫 (田淵経営研究所), 「技術開発の見直しと効率化」只野文哉 (科学技術と経済の会)

5. 研究会 4回

- (1) 49年3月15日 (金), 広島大学, 「ライン生産システムの生産管理について」平木秀作 (広島大)
  - (2) 7月25日 (木), 広島県警, 「広島市の交通信号制御システムについて」大谷正行, 高松征, 及川繁峯 (松下通信)
  - (3) 9月13日 (金), 中国電力, 「生産計画および予定原価計算へのインプットアウトプットモデルの適用」石田 甫 (宇部興産)
  - (4) 12月21日 (土), 広島大学, 「呉市における廃棄物の現状と問題点」赤尾 守 (近畿大)
6. その他 広島市民講座 (電子計算機コース) に講師派遣 (49.12.2 ~ 49.12.6)

○昭和49年度収支決算書

49.3.1 ~ 50.2.28

科 目	予 算	決 算	備 考
(収入の部)			
本部 交 付 金	200,000	200,000	
雑 収 入		39,000	
(1) 合 計	200,000	239,000	
(支出の部)			
通 信 費	20,000	15,840	
会 合 費	10,000	18,385	
印 刷 費	40,000	40,900	
事 務 費	12,000	21,700	
講 演 会 費	100,000	137,360	
研 究 会 費	50,000	20,000	
雑 費	6,847	6,430	
(2) 合 計	238,847	260,615	
(3) 当期運営残高		△ 21,615	(1)-(2)
(4) 前期繰越金		38,847	
(5) 次期繰越金		17,232	(3)+(4)

○昭和50年度事業計画

1. 総 会 1回
2. 役 員 会 1回
3. 幹 事 会 6回
4. 講 演 会 4回
5. 研究発表会 6回
6. そ の 他

○昭和50年度収支予算

50.3.1 ~ 51.2.28

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金	17,232	通 信 費	20,000
本部交付金	181,600	会 合 費	10,000
		印 刷 費	40,000
		事 務 費	12,000
		講 演 会 費	80,000
		研 究 会 費	35,000
		雑	1,832
合 計	198,832	合 計	198,832

○昭和50年度役員

- 支 部 長 柴田隆史 (広島修道大)  
 副 支 部 長 青木兼一 (広島大), 増田栄次 (東洋工業)  
 支部評議員 \*石田 甫 (宇部興産), 尾崎俊治 (広島大), \*木村三郎 (広島工大), 榎藤元 (中国電力), 雑賀 晋 (岡山県庁), \*佐々木右左 (広島大), \*新宮哲郎 (広島大), \*布留川靖 (広島大), 松浦 功 (四国電力), 松富武雄 (近畿大), \*山本純恭 (広島大), °藤原 強 (電々中国), °吉井啓郎 (電々四国)  
 監 事 松富武雄 (近畿大), 三宅立生 (電々中国)  
 幹 事 小川祐広 (電々中国), \*奥田好郎 (四国電力), 久保田洋志 (広島工大), 桑原兵二郎 (近畿大), °坂口通則 (広島修道大), 住山哲夫 (中国電力), 平木秀作 (広島大), \*藤永靖彦 (宇部興産), 三上幸夫 (東洋工業), °和田弘 (三菱重工)  
 \*印は再任, °印は新任, 他は留任

●九州支部

日 時 昭和50年3月26日 15:00  
 会 場 西日本鉄道㈱本社会議室  
 議 事 省略

○昭和49年度事業報告

1. 主な会合  
 (1) 第9回支部総会 49年3月28日, 新日鉄高見クラブ, 三上支部長他16名出席, 議事: ①73年度活動報告と会計報告, ②74年度活動計画と会計予算.

- (2) 講演会「最適について」九大教授 三上 操  
 (3) 運営委員会開催 2回

2. 地域交流

- (1) 九州OR共同 年4回開催  
 (2) 福岡地区OR研究会 年4回開催

○昭和49年度収支予算書

49.3.1 ~ 50.2.28

区 分	項 目	予 算	実 績
収 入	1. 73年度からの繰越	315,927	315,927
	2. 本部交付金	138,800	138,800
	3. 利 息	1,200	4,955
	計	140,000	459,682
支 出	1. 会 議 費	40,000	34,000
	2. 研 究 会 費	40,000	0
	3. 通 信 費	10,000	6,400 (交通費)
	4. 予 備 費	50,000	10,000
	計	140,000	50,400
75年度への繰越		315,927	409,282

○昭和50年度事業計画

1. 諸会合  
 (1) 支部総会 (於:福岡市)  
 (2) 支部運営委員会 随時開催  
 2. 情報交換, 経験交流  
 (1) 支部報「OR九州」の発行 年2回  
 (2) 研究会 地域交流による共同研究の推進  
 (3) 講演会 随時開催

○昭和50年度収支予算

区 分	項 目	金 額
収 入	1. 本 部 交 付 金	148,400
	2. 利 息	21,600
	計	170,000
支 出	1. 会 議 費	50,000
	2. 研 究 会 費	80,000
	3. 通 信 費	30,000
	4. 予 備 費	10,000
	計	170,000
当期運営残額		0
前期繰越金		409,282
次期繰越金		409,282

○昭和50年度役員

- 支 部 長 三上 操 (佐大)  
 副支部長 梅根 定 (西日本鉄道)  
 運営委員 浅野長一郎 (九大), 荒井昭次 (三菱化成工業), 池田哲郎 (九州電力), 河野常生 (電々公社), 白石晃久 (黒崎窯業), 須永照雄 (九大), 中村三千夫 (日

本板硝子), 野村 武(西日本新聞社),  
堀川祥郎(新日鉄), 森本伊三男(安川  
電機製作所), 村上 豊(新日鉄)  
監 事 福田晋一郎(西日本鉄道), 山下善二郎

(九州電力)  
事務局 福岡市中央区天神1-11-17  
西日本鉄道株式会社システム部内  
吉村博之 TEL 092-761-6631

### 第 18 回自動制御連合講演会講演募集

主催学協会：計測自動制御学会，日本機械学  
会，日本自動制御協会

参加学協会：日本 OR 学会，その他

期 日：昭和50年11月 6 日・7 日・8 日

会 場：国立教育会館 東京都千代田区霞が  
関 3-2-3

お問合せは計測自動制御学会へ

Tel. 03-502-1917

### モース教授ら来日記念セミナー

#### “最近の OR について”

早稲田大学システム科学研究所(旧生産研究所)では，今回の国際 OR 会議(IFORS)の日本開催を機として，マサチューセッツ工科大学名誉教授，元同大学 OR センター所長の Philip Morse 博士らを招いて，下記のとおりセミナーを開催いたします。

日 時：昭和 50 年 7 月 28 日(日)・29 日(火) 午前 10 時～午後 4 時

場 所：全共連ビル(東京都千代田区平河町)

費 用：1 名 1 万円

講 師：Philip M. Morse 博士(マサチューセッツ工科大学名誉教授，元同大学 OR センター所長)  
…… OR の国際的な発展の現状，その過去から未来へ，OR の社会問題への応用，とくに図書館の OR として情報の収集・分類・本の格納や取出し，利用者のサービスなどを一貫した研究の事例。

Bernard O. Koopman 博士(A. D. リトル)…… OR における数学の役割と評価，OR の応用として空港のスケジューリング問題をとりあげ，過密な空のダイヤをどう解決するかのアプローチを示す。

Arthur A. Brown 博士(A. D. リトル)…… OR の応用の例，とくに地域の開発や地域間輸送問題，情報システムのマネジメントにおける諸問題，流通過程における在庫問題等。

詳細については，〒160 東京都新宿区西大久保 4-170

早稲田大学システム科学研究所 TEL 03-200-2436・2437